

Rotary



八尾ロータリークラブ会報

2017
vol.56
No.29

2/15

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



人類に
奉仕する
ロータリー



八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、老いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

**人類に奉仕する
ロータリー**

国際ロータリー 会長 ジョン・ジャーム

八尾ロータリークラブ テーマ

**奉仕への情熱と創意を
積み重ね、品格を高めよう**

会長 山本 昌市

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**The Ideal of Service
ロータリーの根幹精神**

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 進也

第2711回 例会 プログラム

- ▼開会「点鐘」
- ▼ロータリーソング
「それでこそロータリー」
- ▼ゲストの紹介 正田常雄様
- ▼出席報告
- ▼その他の報告
- ▼会務報告
「会長の時間」「幹事の時間」
- ▼SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓話
「天草四郎と島原の乱について」
正田 常雄 様
- ▼閉会「点鐘」

▼卓話予告

2/22 「どう生きる人生80年時代」

佐野 清 元会長

3/1 佐々木 洋 名誉会員

会長の時間

節分の行事

「冬きたりなば 春遠からじ」
は、日本人の詩とと思っていま
したが、英国の詩を邦語に訳し
たものです。特に四季の区別
がはっきりしている日本にあっ
ては、「立春」の声をきくと改め
て実感が湧きます。

厳しく寒い冬の季節をむかえ
ると誰しも、つい身を縮め、気
力も委縮しがちになります。こ
うした状況に甘んじていると、日
常生活や行動も鈍くなるだけ
で、心まで暗くなってしまいま
す。だからこの時節にこそ気分
転換を図って、明るい春の情
景を思い浮かべて、陽気に積
極的にふるまった方が良く、と

詩人は詠いあげたのでしょう。
そのことが、日本人に受け入れ
られたのでしょう。

節分は終わりましたが、今日は
厄年について、話をしたいと思
います。

古い暦は「24節気」があり、1月
末の「大寒」から2月初めの「立
春」までの間は、僅か2週間し
か離れていません。冬と春の境
目は極端に短く、その間に日
本古来の節分の行事がありま
す。

もともと節分とは「季節を分け
る」という意味で、「季節の変わ
り目」という事です。本来は春、
夏、秋、冬の全ての季節に節
分が有ります。しかし、一年の
始まりが「春」ですので、その春

が始まる「立春」の前日に「不幸や災いのない一年になりますように」との願いを込めて、2月3日に節分の行事をします。

厄年の「厄」とは、災厄の「厄」ではなく、役員の「役」、つまり共同体の中で一定の役割を果たすという意味での「厄」年だそうです。厄年が災いの年になることがあるのは、年齢に応じて与えられた役割を果たすことが出来ない。様々な難題課題を解決する事が出来ず、それに振り回されて失敗してしまうという考え方によるそうです。

このような役割を振りあてられ、その役割を果たす事が出来るかどうかと言う試練を受ける事が厄年の根本的な意味です。それを災いとするのも、人生のよき糧、養分とするのも、すべてはその人次第であります。

どのような困難が降りかかってこようと積極的に前向きに取り組み、課題を解決し、能力を高め、周りからも評価を受ける事によって、さらに大きな人格として成長を遂げて行く。その時期が厄年なのです。

しかし、基本的に厄年と言うのは村、町の共同体の中で、一定の年齢に達した者が受けるネガティブなイメージです。その負のイメージが何故出来たかと言うと、それが大変な時期だからです。

災難が起こって来ると考えられるようになる以前は、この年

齢になるといろんなことをしなければいけないので神頼みをします。その時期になると神様に頼んで、この役割がはたせませうと祈ったのです。それをいつしか災いと見るような厄年の漢字をあて、厄年信仰が確立していきました。

ふだんは神仏など信じない人でも、厄年を迎えるとうとうも不安になり、神社で厄除け祈願をすると安心します。神道が日本人の心の奥まで影響を与えていると言ってよいでしょう。

日本では、季節の祭りが年中行事としてとり行われます。これは巡り行く自然、季節と人々の暮らしを、調和あるものに結びつけていく為の生活の知恵であり、日々の暮らしの祈りや、感謝の心が込められているのでしよう。

幹事報告

▼4日に、地区の戦略委員長会議が開催されました。

▼同日、地区の補助金管理セミナーが開かれ、菅野・山本(勝)・長竹・福田会員が出席されました。

▼中谷会員から退会届が提出され、先週の理事会で承認されました。退会にあたり、多額のご寄付をいただきました。

ロータリーの友紹介

▼富田 宏 会員

今月号では会員減少で合併

したクラブが紹介されています。

大分でスポーツフェスタなどの事業も記事が掲載されています。

エルサルバドルの国紹介では、車椅子をカナダのロータリーアンが寄贈したそうです。

また日本のRCが100周年迎えるにあたって、座談会の記事などが掲載されています。

その他の報告

▼米山奨学生・三宅 建 様

息子はあさってで7ヶ月になります。離乳食も始まり、元気に育っています。

私は就職で、来年度から関西学院の高等部で英語の教師をすることになりました。

また今朝、卒論の口頭試問を終えました。おそらく無事に卒業できると思います。

八尾RCのご支援のおかげで、この研究が完成できました。ありがとうございます。

▼クラブ戦略計画委員会・

井川 孝三 副委員長

先週土曜日、地区の委員長会議に山本会長、菅野会長エレクトと出席しました。

RCの基本は単年度ですが、それでは対応できないこともあります。周年事業や会員増強などです。

当日発表したクラブも、ほとんどが会員の減少に悩んでいるようでした。中には財政的に苦

しく、例会数を減らすことを検討するクラブもありました。

卓 話

「ハラスメントについて」

▼中矢 才子 様



産業カウンセラーをしております。本日は、松井様よりご紹介いただきました。ハラスメントについてお話しさせていただきます。

仕事の内容としては、現在働いている方、そしてこれから働こうとする方などを対象に、メンタル的なカウンセリングをさせていただきます。

「最近、お仕事はどうですか？」などをお尋ねすると、「先輩とうまくいかない」「職場になじめない」などの悩みも聞かれます。

また管理職の方でも「部下にどう接していいかわからない」などのご相談をいただきます。

それぞれの立場の方々が、何らかの違和感を抱きながら職場で長い時間を過ごしているのが現状です。でも、「どうせ働くなら、楽しく働きましょう」ということでお手伝いしています。

ハラスメントについて、やさしく考えていただくきっかけにな

れば、と思っております。ハラスメントには皆さん気をつけていらっしゃると思いますが、今日は特にパワハラについて考えてみます。

いじめや嫌がらせ、他にマタハラ(マタニティ・ハラスメント)などもあります。最近ではスモーク(たばこの煙)やスメル(におい)などもハラスメントの対象になってきています。

「じゃあ一体、どうすればいいの？ これでは何もできない」という人もおられると思いますが、ハラスメントについては定義がありますので、「ここがダメ」というポイントをぜひ理解してほしいと思います。

定義に「業務の適正な範囲を超えて」とありますが、これが境目です。

1. 業務遂行性
2. 社会的判断
3. 被害者の受け止め方

これにより、ハラスメントと判断されてしまいます。3. は人により違うので、難しいところです。

パワハラにならないための注意事項を、フローチャートに書いています。なかなか厳しそうですが、これが現実です。

指導の目的はあるか、指導方法は適正か、これが分かれ目になります。

パワハラは、被害者の主観的な意識が大きく関わる部分がありますが、その行為の種類として、6つ挙げられています。本

人が嫌と言え、無理には要求できない現実があります。

次に、パワハラが起こってしまったからの対応についてですが、

1. 法的制裁
2. 損害賠償リスク
3. 職場の士気の低下、
人材流出

そして、カウンセラーが一番訴えたい

4. 精神疾患のリスク
があります。

パワハラの影響は自分でも気付かず、気付いたときには手遅れになってしまっているケースも見られます。自殺に至るなど最悪の場合、自分も周囲も会社も、ダメージしか受けない結果になります。

このため社内でもしっかりコミュニケーションをとるなどして、気をつけてあげてほしいと思います。

労災認定の件数では、精神障害は女性も多く、自殺は男性が多い傾向が見られます。ただ、女性の自殺は未遂で終わるものの、何度も繰り返す傾向があります。

会社内で、気付きができる環境づくりをしてほしいと思います。コミュニケーションをしっかりとるなどしてください。

予防のために考えられるのは、「加害者にならないこと」が、もっとも簡単なアプローチです。大切なのは、普段からのコミュ

今後の予定

月	火	水	木	金	土	日
		1 理事会	2	3	4 補助金管理 セミナー	5
6	7	8	9	10	11 地区チーム 研修セミナー	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	平和と紛争予防 ／紛争解決月間		2月		

月	火	水	木	金	土	日
		1 理事会	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 PETS	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	水と衛生月間 3月	

ニケーション、人間関係の構築
だと思えます。

資料に示した5項目のうち4、
5はなかなか難しいところもあり
ます。

特に近年の新入社員たちは、
いわゆる「ゆとり世代」です。これ
は時代の問題で、彼らに責
任があるわけではなく、仕方な
いことです。それを理解してあ
げてほしいと思えます。

彼らの世代はととも清廉潔白
で、失敗をおそれる傾向があり
ます。

いろいろと難しく、面倒なこと
のあるとは思いますが、まずは
人として接してみてください。

ニコニコ箱

▼山本(昌)会長 暦の上では、
立春ですが、マダマダ寒さが
続きます。皆様お身体に気をつ
けて下さい。

▼田中副会長 本日、9時半
より大阪拘置所にて受刑者
150人に対し、勤労意欲を高
める講話を行ってきました。1
人でも多くの更生を願うばかり
です！

▼山陰幹事 西浦様ようこそ
お越し下さいました。

▼寺坂会員 ピロリ菌除菌して
快調です。

▼寺坂会員 ニコニコ宜しく。

▼中川(廣)会員 良い事があ
りますように。

▼山本(勝)会員 早退お詫

び。

▼小林会員 長竹さんありがと
う。在籍内祝い。例会欠席お
詫び。

▼菅野会員 中矢様、本日の
卓話よろしく。

▼笠井会員 長竹会員お世話
になりました。良い事があり
ました。

▼濱岡会員 山本隆一様ご入
会お目出度うございます。よろ
しくお願い致します。例会欠席
お詫び。

▼吉田会員 宮川さんありがと
うございました。

▼小谷会員 ニコニコありがと
うございます。



感謝の気持ちを
ニコニコに！

出席報告

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
1/25	58	42	7	80.77%	0	80.77%
2/1	59	47	7	88.68%		
2/8	58	40	5	78.43%		